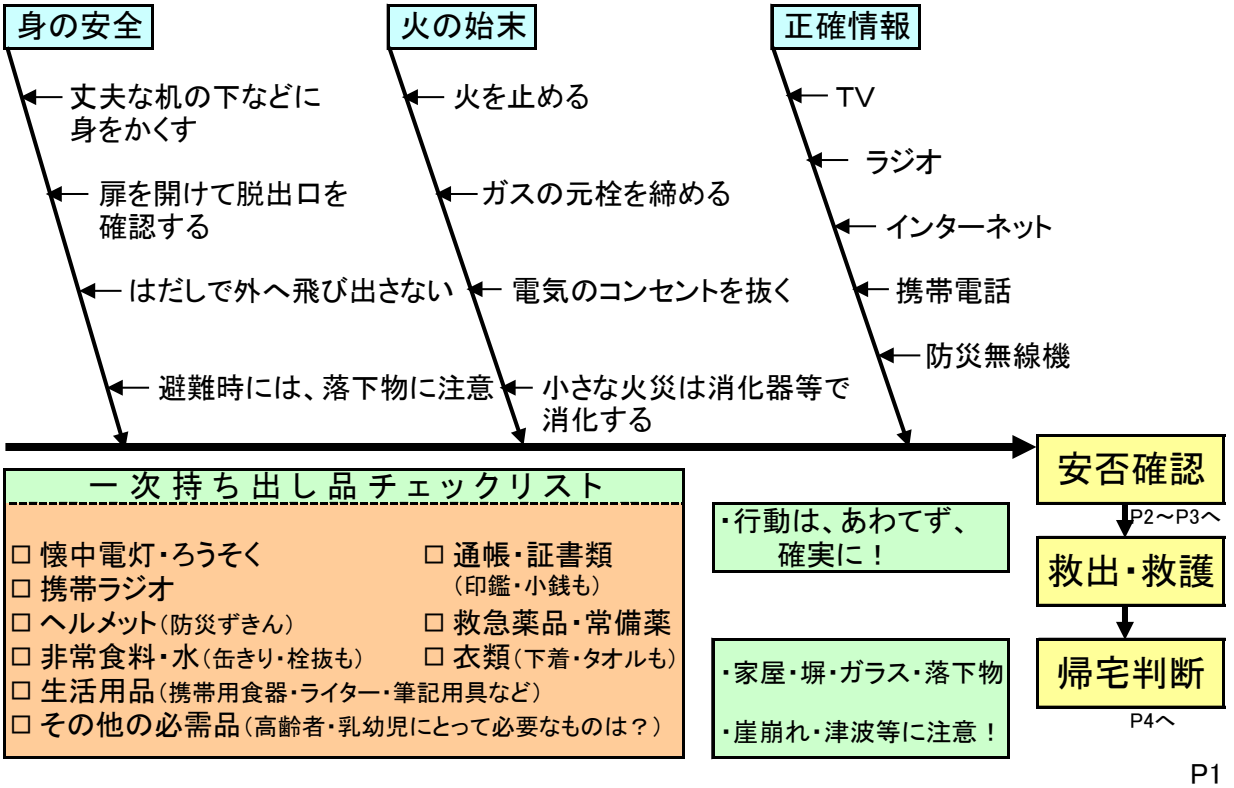


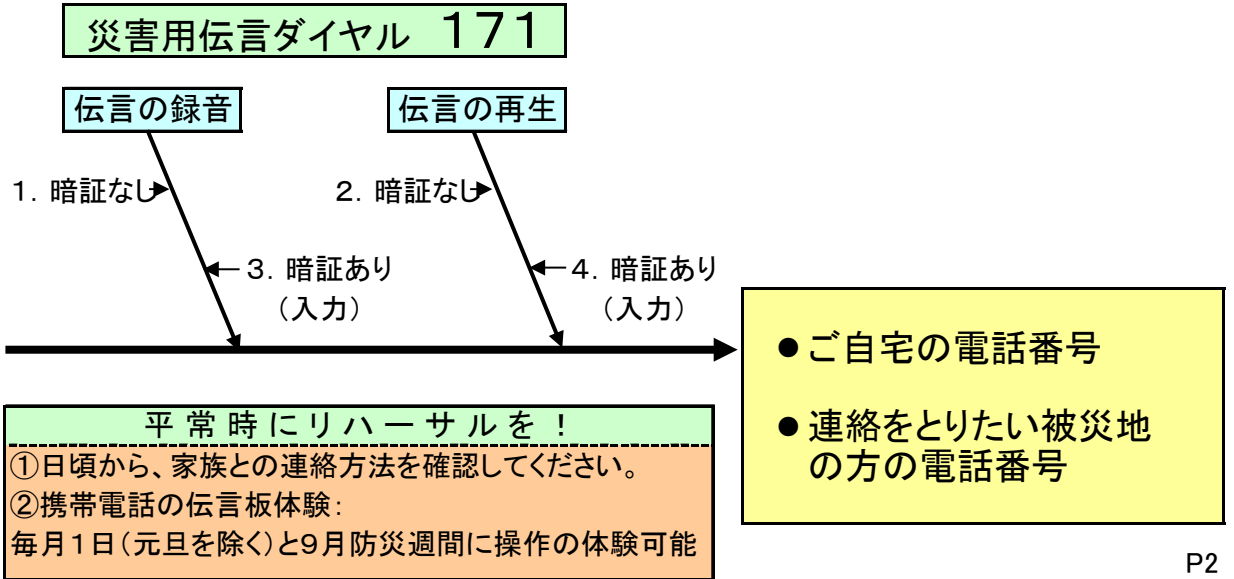
# 防災カード

ライオンズクラブ国際協会 2012年～2013年 330複合地区 緊急援助委員会

委員長: 今井三和、副委員長: 脇村孝友、小嶋完治、上野 了、委員: 山口軍次、堀 勝、家喜凱雄、志村 勝、斉藤一三、新津辰夫、大石幸治、井上堅一



# 家族との連絡方法



# 災害伝言板利用方法

【例：ドコモ】

## 1. サービスの開始

震度6弱以上の地震災害  
↓  
「iMenu」のトップに  
「災害伝言板」が追加される

## 2. 伝言の登録

〈状態〉  
「無事です」「被害があります」  
「自宅に居ます」  
「避難所に居ます」  
の4つの内から選択

〈コメント〉  
最大100文字までコメント  
登録可能

〈登録〉  
最大10件、登録から最大  
72時間保存

## 3. 伝言の確認

「災害伝言板」から  
安否情報を確認したい  
人の携帯電話番号を入力し、  
メッセージを確認する  
(iモードサービスまたは  
インターネットで全国から  
確認可能)

## 4. その他

パソコン等利用する  
場合には、下記により  
メッセージを確認する

<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>

P3

# 帰宅方法

## 帰宅ルート決定

← 広い道路

## 徒歩の限界

← 革靴10km

← スニーカー20km

← 日没まで行ける地点

## 目標設定

← 親戚

← 公共施設

← コンビニ

← ガソリンスタンド

帰宅準備

安全帰宅

## 安全帰宅の10か条

- あわてず騒がず状況判断(火災や風向きも)
- 風評に惑わされず正確情報(携帯ラジオで)
- 余裕の行程計画(夜間は危険と心得よ)
- 広い道路の中側を歩く(塀や細い道は避ける)
- 短距離の目標の積み重ね
- 季節に応じた冷暖準備(携帯カイロやタオルなど)
- スニーカーや履き慣れた柔らかい靴で
- 机の中のお菓子は簡易食料になる
- 家族と安否を確認(災害伝言やボイスメールで)
- 声を掛け合い、助け合おう

P4